

文世小 学界学 館 J 館

2024年1月31日
JEPAオンラインセミナー

紙＋デジタルで、子どもに「世界名作」を届ける



塚原伸郎

『小学館世界J文学館』元編集担当

松島智

インタラクティブデザイナー、EPUBリーダー「Bibi」開発者

浅野成祥

WEBディレクター、株式会社エイトリンクス所属



小学館 世界J 文学館

2022年11月22日発売
定価 5,500円(税込)



試し読みサイト

<https://jbungakukan.shogakukan.co.jp/demo/>

自己紹介

- 1984年小学館入社。学習雑誌の編集に長く携わる。『小学一年生』～『小学六年生』6誌と、『幼稚園』『めばえ』編集部を経験。
『小学五年生』『小学六年生』以外では編集長も務める。
- 2017年7月、児童書籍部門担当のチーフプロデューサーに。
- 2019年秋、「児童向け世界文学全集」企画を専任で担当。
- 2022年11月22日、『小学館世界J文学館』刊行。同日定年退職。
- 現在は嘱託にて小学館の校閲業務を担当。

本日のオンラインセミナー概要

「世界文学全集」という思想

実際に読んでみます

電子書籍の仕組みを深掘りする

児童向け世界文学全集 ミニ年表

1950年～2022年

(あわせて、テレビの「世界名作アニメ」も)

年代	児童向け世界文学全集	世界名作アニメ
1950～	24	
1960～	54	1
1970～	18	14
1980～	10	14
1990～	9	7
2000～	4	3
2010～	3	
2020～	1	

作家 萩原規子さんの エッセイより



萩原規子著
『もうひとつの空の飛び方』
角川文庫刊

自国に『古事記』という神話文献をもっている日本人は、自分の住んでいる土地の神話を素材にしたファンタジーが創れるのではないかな……と、わたしは考えたのだった。

小学生のうちにごく無邪気に、大量の他の文学作品とともに『古事記』を読んだのは得がたい経験だった。

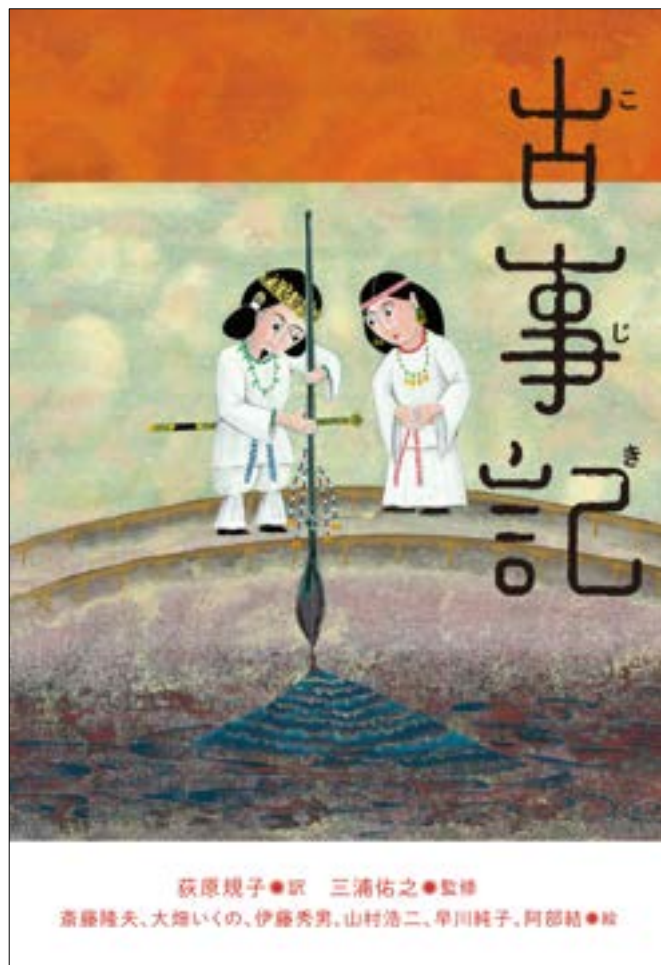
読書好きな小学生だったと思う。
両親は、「少年少女世界の名作文学全集五十巻」(小学館)を家にそろえてくれたけれど、自分たちは一文字も読んでいない。読みきかせをしたり、内容の感想を言い合う人たちではなかった。三歳下の弟も読まなかった。わたし一人が、ほぼまんべんなく目を通していったようだ。

萩原規子さんの著作



デビュー作『空色勾玉』

1988年 福武書院刊、のちに徳間文庫



現代語訳『古事記』

2022年

「小学館世界J文学館」所収

児童向け世界文学全集の「効能」

- 「自分が読む本」ではなく「子どもに読んでほしい本」
- **プロが選書**している安心感で購入される
- 必ずしも全ての作品が子どもの興味に適応しているとは限らない。が、実際に読んでみると、**高い確率で「面白い！」**
- 「ファンタジー」「神話」「少女小説」などとオトナが勝手に決めた**ジャンルや分類を軽々と超え**て、子どもは本を楽しめる力を持っている
- 当然、「読む子ども」の一方で「読まない子ども」もいる
- しかし波長が合った子どもには、大きな影響を及ぼすことも
- 将来、自分の力で本を選ぶ力を養うためにも、**あらかじめ「多彩なジャンルの質の高い本」を基礎的な素養として読んでおく**ことには意味がある

児童向け世界文学全集の「衰退」

- ・ **子どもが楽しめる娯楽、文化コンテンツ**の爆発的な増大
- ・ 画一的な「**教養主義**」指向の終焉
- ・ **居住空間の変化**で、「応接間の豪華な書棚」が消えた
- ・ 「重たい本」への忌避感
- ・ 公共図書館の充実で「立派な本は図書館で読めばいい」との意識
- ・ 月賦訪問販売など、全集本の拡販を支えた商習慣の変化



「家具」的な大型商品としての「文学全集」は使命を終えた
しかし、そのコンテンツ「**名作文学**」は今も読み継がれている

「小学館世界J文学館」での解決案

デジタルと紙のハイブリッドによる「文学全集」

- **作品は電子書籍**として収録する
 - 持ち運びの問題なし
 - 収納スペースを節約する
- 作品のインデックスとなり、入口となる**紙の一冊本**を刊行する
 - 紙の本の一覧性、
パラパラ読みできる楽しさ、
図鑑的なビジュアルの楽しさ…を実現する

小学館創業100周年の 記念事業としてスタート

2019年夏 立案開始

年末まで 基本プラン策定

2020年4月 編集委員決定

収録作品選定開始

契約・翻訳作業を開始

2022年2月 最後の作品確定

8月 創業100周年

同年11月22日 発売



5名の編集委員



浅田次郎
(小説家)



角野栄子
(児童文学作家)

金原瑞人
(翻訳家、法政大学教授)



写真／根津千尋



さくまゆみこ
(翻訳家、JBBY (日本国際児童図書評議会) 前会長)

沼野充義
(スラヴ文学者、東京大学名誉教授)

※敬称略、五十音順



どのような作品が選ばれたか？



どのような作品が選ばれたか？

全125作品

新訳

105作品

そのうち本邦初訳 24作品



本邦初訳 『夢の黄金』



新訳 『何かが道をやってくる』

「意味ないわよ。プレゼントぬきのクリスマスなんて！」
ジョーはすねて、男の子みたいに、ごろりと横になりました。
「びんぼうは、するものじゃないわね。」

メグは、つくづくとそういって、深いため息をつきました。
「神さまって、不公平だと思うわ。」

小さな口をとがらせて不平をいいはじめたのは、エイミーです。

(中略)

すみのほうで、編み物をしていたベスが、手を休めて、はじめて口をひらきました。このことばに、みんなの顔は、ちよつとのあいだ明るくなりましたが、

「だって、おとうさんは、いま、いらっしやらないじゃないの。それに、いっつお帰りになるかも、わからない。」

と、ジョーが、悲しそうにいましたので、みんなの顔は、また、暗くもってしまいました。

話題を呼んだ「新訳」の文体

「プレゼントなしのクリスマスなんて、クリスマスじゃないね」

ジョーがぶつくさ言って、床ゆかにごろんとなった。

「ああ、お金がないってほんとうにいや」

メグがため息をついて、自分の古ぼけた服をじっと見つめる。

「ほーんと、不公平。きれいなものをいっぱいもってる子もいるのに、そういうのなんにももってない子もいるなんて」

エイミーも口をとがらせた。

「わたしたちにはお父さんとお母さんも、きょうだいもいるでしょう？」

いつもの目立たない場所にすわっているベスが明るくほほ笑む。

たしかにそうだ。一瞬いっしゆん、暖炉だんろの炎ほのに照らされた四人の女の子の顔が、ぼつ

とかがやいた。だけど、すぐにまたしょんぼりする。ジョーが悲しそうに言ったからだ。

「お父さんはいま、いないじゃん。しかもしばらく会えそうにないし」

ワイドカラー版
少年少女世界の名作版

『若草物語』

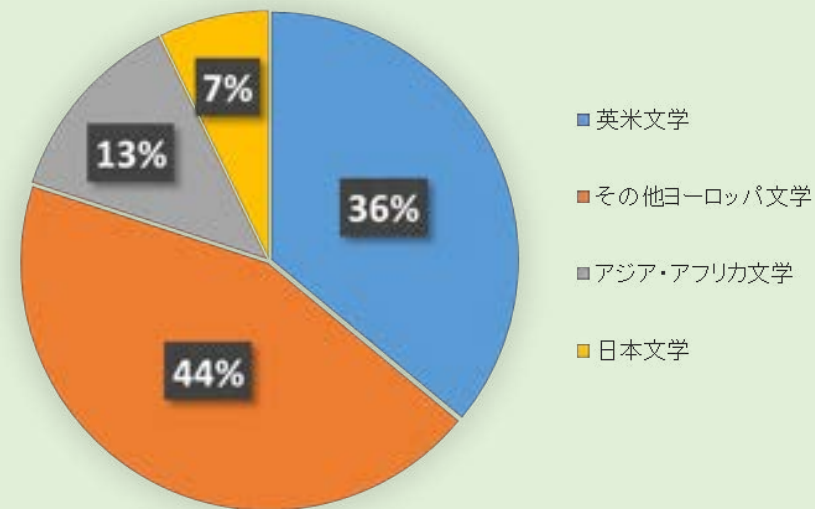
新川和江訳

J文学館版
『若草物語』
代田亜香子訳

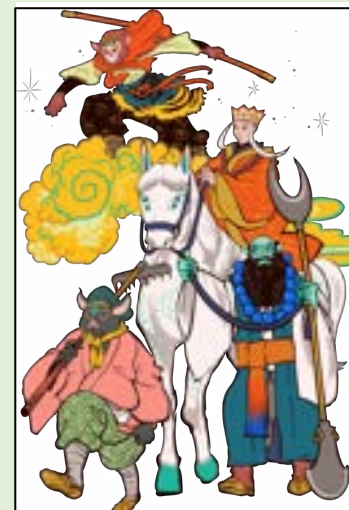
どのような作品が選ばれたか？

全125作品

英米文学	45作品
その他ヨーロッパ文学	55作品
アジア・アフリカ文学	16作品
日本文学	9作品



『プーシキン作品集』



『西遊記』



『アフリカン・マジック！』

ネルソン・マンデラ編

さくまゆみこ訳

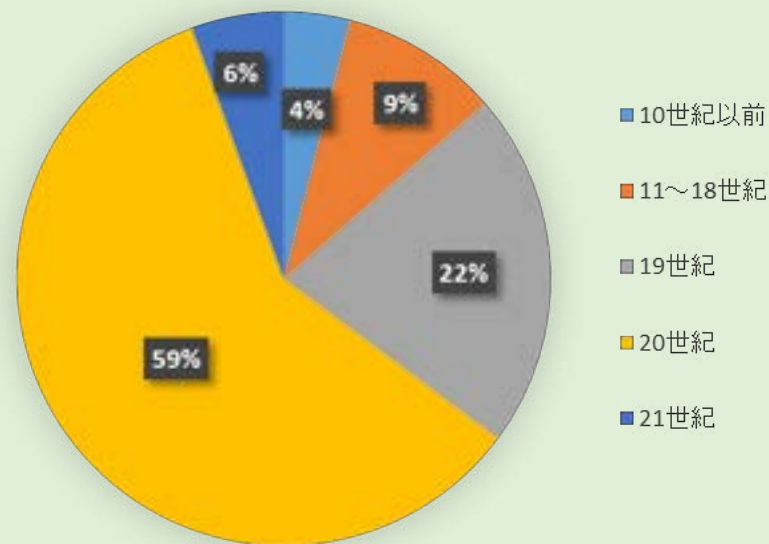
アフリカ各地に伝わる昔話・神話と創作児童文学のアンソロジー。

サン、コイコイ、ズールーなどのネイティブ・アフリカの人々のほか、オランダ系、イギリス系、アジア系の人々に伝わる話も。編者のネルソン・マンデラさんが願った、多彩な人々が協力し合って築く「虹の国」の理想を投影した一冊。

どのような作品が選ばれたか？

全125作品

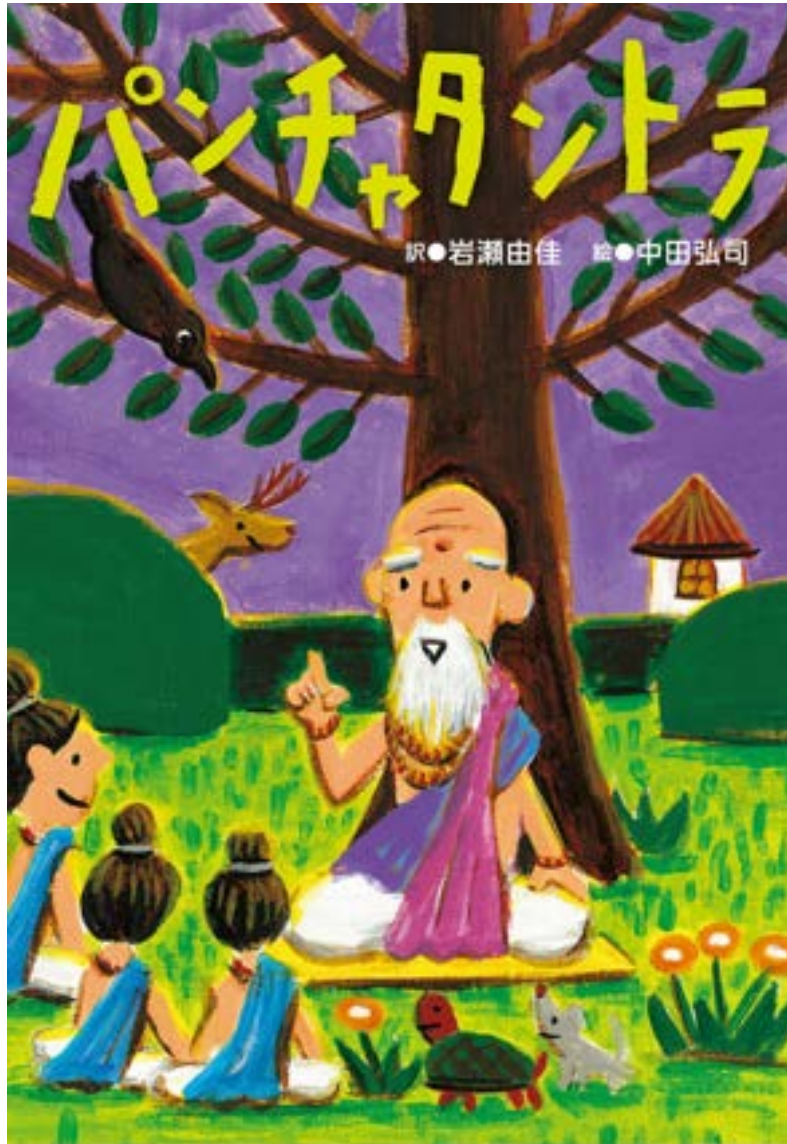
10世紀以前	5作品
11～18世紀	12作品
19世紀	27作品
20世紀	74作品
21世紀	7作品



紀元前6世紀『イソップ物語』



2016年『トンボの眼~フランスから来たおばあちゃま~』



『パンチャタントラ』

岩瀬由佳訳

古代インドに伝わる、「世界最古の子どものための教育物語集」。

これまで、研究者向けの完訳書や、部分的な翻訳はあったが、子どものためにサンスクリット語から全体を翻訳した本は本書が初めて。

「小学館世界J文学館」の編集方針

- 文学史的価値ではなく、現在の子どもが読んでおもしろい作品
- 英米文学に偏らず、世界の文学を広く集める
- 原則として全訳。また新訳する
- 子どもテンポに合う、リズム感を大切にした訳文
- 1作家1作品
- 詩は含めないが、日本の詩集2冊は例外とする
- 対象読者は、小学校中学年から中学生まで

本日のオンラインセミナー概要

「世界文学全集」という思想

実際に読んでみます

電子書籍の仕組みを深掘りする

本日のオンラインセミナー概要

「世界文学全集」という思想

実際に読んでみます

電子書籍の仕組みを深掘りする

松島智さん

インタラクシヨンデザイナー
EPUBリーダー「Bibi」開発者

浅野成祥さん

WEBディレクター
株式会社エイトリンクス所属



アクセシビリティへの対応

①ルビの切り替え

「すこし」「ふつう」「ぜんぶ」の3段階

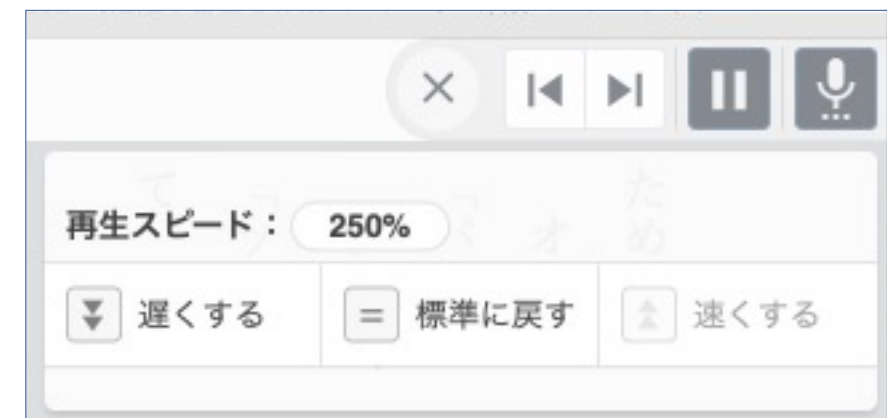
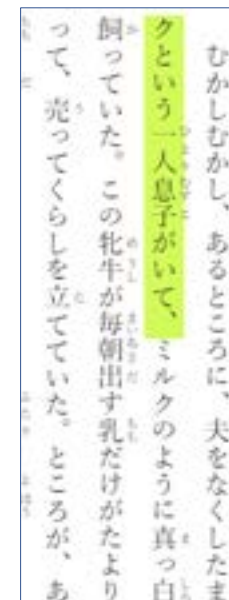


②文字の大きさ

5段階に変更可能

③音声自動読み上げ

スピードは50%~250%まで可変
再生箇所を色伏せして表示



機能の詳細-①ルビの切り替え

EPUBの仕様に即し、電書協ガイドにも親和性のある方法で組み込んだ

●EPUBでのルビ指定

```
<ruby>足<rt>あし</rt></ruby>
```



機能の詳細-①ルビの可変機能

●J文学館でのルビ指定

レベル1…「ぜんぶふりがな」のときだけルビ

<ruby data-bibi-ruby-level="1">頭<rt>あたま</rt></ruby>

レベル2…「ふつうふりがな」のときにもルビ

<ruby data-bibi-ruby-level="2">現<rt>あらわ</rt></ruby>

レベル3…「すこしふりがな」の時にもルビ

<ruby data-bibi-ruby-level="3">這<rt>は</rt></ruby>

ルビ可変機能のポイント

ポイント①

対応リーダーで「可変ルビ」となるが、
一般のEPUBリーダーでも「**総ルビ**」として読める

ポイント②

製版所が半自動でルビ分けを設定、**最後は目視**で修正

ポイント③

本の内容に応じて、「ふつうルビ」のレベルを**3段階に設定**

- ・ 中学年対象：『クマのプーさん』 ……教育漢字までを使用し、小三以上の漢字にルビ
- ・ 高学年対象：『秘密の花園』 ……………常用漢字までを使用し、小五以上の漢字にルビ
- ・ 中学生対象：『何かが道をやってくる』 ……常用漢字までを使用し、教育漢字外にルビ

最初のルビ校(自動生成)

逢坂の関所を守る役人から、越境の許可をもらった。秋である。山を染める、せっかくの紅葉は見逃したくないものだなあ……。そう思ったのをきつかけに、東海道の鳴海の浜で遊ぶ千鳥の足あとをながめにいったわたしはそのまま、古い歌に詠まれた諸国の名所——歌枕をめぐることにした。煙を吐いた富士山が見下ろす浮島が原、清見が関もめぐったし、その先の大磯・小磯にも、足をはこんだ。紫草がうるわしい武蔵野の原を経たあとには、北の地にもおり立っている。陸奥の塩竈で迎えた朝の、なごやかだったことといたら！ 出羽の象潟で目にした苦葺きや、帰路における佐野の舟橋、木曾の棧橋もまた、いまなお心に残っている。結局、西の歌枕もめぐらずにはいられなくなったわたしは、仁安三年(一一六八年)の秋には「葦がちる」の枕詞で知られる難波の地を踏み、須磨・明石の入り江に吹く風をしみじみと味わったあと、とどまることなく讃岐まで進んだ。杖をつくのをやめたのは、真尾坂の林といわれているあたりだ。そして、決めた。しばらくここにとどまろう、と。草が枕がわりの旅に、ほとほとつかれてしまつて、というわけではなかった。仏僧としての修業もそろそろ、という思いから、ひさしのある庵を求めたまでのことだった。

修正後のルビ校

黒字 = レベル1
水色 = レベル2
緑色 = レベル1だが、
レベル2/3と熟語を構成
赤字 = レベル3

逢坂の関所を守る役人から、越境の許可をもらった。秋である。山を染める、せっかくの紅葉は見逃したくないものだなあ……。そう思ったのをきつかけに、東海道の鳴海の浜で遊ぶ千鳥の足あとをながめにいったわたしはそのまま、古い歌に詠まれた諸国の名所——歌枕をめぐることにした。煙を吐いた富士山が見下ろす浮島が原、清見が関もめぐったし、その先の大磯・小磯にも、足をはこんだ。紫草がうるわしい武蔵野の原を経たあとには、北の地にもおり立っている。陸奥の塩竈で迎えた朝の、なごやかだったことといたら！ 出羽の象潟で目にした苦葺きや、帰路における佐野の舟橋、木曾の棧橋もまた、いまなお心に残っている。結局、西の歌枕もめぐらずにはいられなくなったわたしは、仁安三年(一一六八年)の秋には「葦がちる」の枕詞で知られる難波の地を踏み、須磨・明石の入り江に吹く風をしみじみと味わったあと、とどまることなく讃岐まで進んだ。杖をつくのをやめたのは、真尾坂の林といわれているあたりだ。そして、決めた。しばらくここにとどまろう、と。草が枕がわりの旅に、ほとほとつかれてしまつて、というわけではなかった。仏僧としての修業もそろそろ、という思いから、ひさしのある庵を求めたまでのことだった。

機能の詳細-②音声自動読み上げ機能

- ・さまざまな読み上げシステムの中から、品質、コスト、継続性を評価して、Amazon Polly を採用。

- ・本文が総ルビなので、誤読のリスクは少ない。

→しかし実際には誤読が発生！（後述）

機能の詳細-②自動音声読み上げ機能

作品本文 (EPUB、XHTML)



SSML (音声合成マークアップ言語) に翻訳



独自のAPIを介してAmazonと通信、
またはキャッシュから取得



音声データを受信



本文の読み上げ箇所のマーキング

ジャックと豆のつる

ひかしひかし、あるところに、夫をな
クという一人息子がいて、ミルクのよう
飼っていた。この牝牛が毎朝出す乳だけ
って、売ってぐらしを立てていた。とこ

い女がいた。女には、ジャック
ルキーホワイトという牝牛を
二人はその乳を市へ持ってい
ミルキーホワイトが一滴も

②自動音声読み上げ機能の「課題」

- ・ 想定以上に多くの読者が読み上げ機能を利用。ある期間の推定では**ユーザーの約14%が読上げ**を体験。（※2023/1/15～28の2週間のデータから推定）
- ・ 「人による朗読」を聞けるとの期待があるようで、「不自然なイントネーションでがっかり」「残念」との反応が予想以上に多かった。
刊行後の2023年2月、Amazon Pollyのより高音質なシステム「**ニューラルTTS**」を導入。読み上げの品質は向上したが、限界はある。
- ・ 想定外の誤読は散発的に発生し、個々に対応した。

誤読の例

紫草が
ムラサキグサガ

ハハ ヤリモノニ ナッタ

こうした報告が相次いで届いた。大都市のいたるところで、
〈怪物〉はやはりものになった。怪物は、カ

ソウ ハイッテモサ

「そうはいつてもさ、どう思ってるんだ？」

J文学館：＜著作権利用＞面の対応

- ・ 電子書籍はデバイスにダウンロードせず、**逐次読み込み方式**で配信
- ・ 配信期間＝契約期間は「最短2030年8月まで」とする
- ・ 契約可能な作品は単体ダウンロード型としても販売（9割以上OK）
- ・ 他出版社から刊行中の作品を「電子書籍のみ」で契約したケースも
- ・ 紙の本は、電子書籍へアクセスする「権利の証明」
- ・ 紙の本の譲渡・転売は自由だが、電子書籍の**譲渡・転売は禁止**
- ・ アカウント作成は「個人」に限り、企業や店舗での利用はNG
- ・ 図書館ではQRコードから繋がる電子書籍は利用不可（館内・貸出とも）
- ・ 代わりに**電子図書館での単体配信**を進めた（約100作品でOK）

ユーザーサイドから見ると

J文学館の商材としての立ち位置は、読者の目線から見ると、

- ・ 2030年8月まで、
- ・ 125冊が読み放題、
- ・ その対価は紙の本の価格5,500円に含まれている。

という「**定額制・有期間型配信サービス契約**」となり、サブスクリプション方式に近いものになる。
では、一般的なサブスクリプション契約と同じ方式で配信契約を結べばよいか？

アカウントの設定方法

サブスクでは、通常はクレジットカードなどで決済し、認証することが多いだろう。しかしJ文学館では、

- ・子ども（中学生を想定）が自力でアカウントを取得できること
- ・書店で紙の本を購入する時点で、決済が完結すること

以上2点を実現したかった。

そのため、本綴じ込みのシリアルナンバーを使った、

シンプルな認証方式を採用。



表四に
概要を表示



袋綴じを
開封



- 書店店頭では本はシュリンクされ、利用規約の概要が表四側に入る
- 一冊ごとにシリアルナンバーが**袋綴じ**で付いている。
- 読者はサイト上の利用規約を確認。その上で 袋綴じを開く。
- アカウント設定の際に必要なのは、名前、誕生日、メールアドレスの**3点のみ**。
- パスワードを設定してアカウントを登録。
- いったん登録した名前と誕生日は**変更不可**（譲渡・転売防止のため）。
- 1アカウントで**デバイス3台まで**認証可能。

「J文学館」から広がる、未来への可能性

一出版社の周年事業として立ち上がった本企画だが、その中で将来へ繋がる普遍的な可能性を見つけられたのではと考えている。特に次の3点。

- ・ 「**世界名作**」の新たな展開の可能性
- ・ 紙とデジタルの融合・連動による、「**新しい読書**」の可能性
- ・ アクセシビリティ向上に役立つ諸機能、特に日本語の学習者に必ず役に立つ「**可変ルビ**」システムの可能性

出版にかかわる皆様には、是非これらの可能性の開拓に向けて、挑戦していただきたいと切に願っています。

絵／きくちちき



ありがとうございました

試し読みサイト

<https://jbungakukan.shogakukan.co.jp/demo/>

